

自主参加型排出量取引制度
 検証機関情報（テュフズードジャパン）

会社名	テュフズードジャパン株式会社
所在地	東京都新宿区西新宿 4-15-3 住友不動産西新宿ビル 3号館 7F
設立時期	1993年(平成5年)1月20日
資本金	5,000万円
出資者	TÜV SÜD AG (本社:ミュンヘン)
業務内容	安全規格試験・認証業務 マネジメントシステム認証・登録業務 温室効果ガス検証業務
従業員数	112名(2008年6月現在)
代表者	Jens Butenandt (イエンス・ブテナント)
沿革	<p>テュフズードグループは、1866年にボイラー設備の安全試験から営業を開始、その後のモータリゼーションの時代背景の中で電車・自動車等に代表される移動体の検査を開始しました。現在では、玩具から医療機器・電子機器等の民生部門における検査業務、ISO9001、ISO14001に代表されるマネジメントシステム規格に基づく認証・登録業務、京都議定書に基づく二酸化炭素排出量削減に関する国連指定運営組織(DOE)としての検証業務等を展開しております。また、2006年4月にシンガポール最大手の認証機関であるPSB社を買収、アジア・パシフィック地域における業務拡大にも精力的。テュフズードジャパン株式会社は、テュフズードグループの日本法人として1993年に設立され、以後テュフズードグループが展開する試験・認証業務を広範に提供しています。</p>
GHG 排出削減プロジェクトにおける当社の特徴	<p>テュフズードジャパンでは、国際的に信頼される第三者機関として、CDM/JIと呼ばれる温室効果ガス排出削減プロジェクトの、バリデーション(プロジェクトの登録適格性評価サービス)、ベリフィケーション(事後の排出削減量の検証サービス)を、日本国内の顧客のニーズに合わせて提供しています。</p> <p>テュフズードグループ傘下のテュフズードインダストリーサービス社(在ミュンヘン)を中心に、GHG 関連業務においては、日本人審査員を含めて世界各地に訓練された要員を配置、費用対効果の高いサービスの提供を可能にしております。CDM 案件においては、既に100件を超えるプロジェクトを世界各地で経験しており、国連UNFCCCより認定されたDOE(指定運営組織)として、バリデーション及びベリフィケーション共に12の専門分野で認定され、現時点ではDOEとして最大のものとなっています。</p> <p>京都議定書/京都メカニズムに基づくGHG 排出削減プロジェクトにおけるDOEとしての実績・経験によって蓄積されるノウハウや、テュフズードグループの有するグローバルネットワークは、経験豊富な企業から、"learning by doing" でプロジェクトを計画されるこれからの組織に至るまで、広範囲にわたり長期的に満足のいくサービスを提供することを可能にします。</p>

